

1. 人口食糧問題の再認識……………畑 井 義 隆 (明治学院大学)
2. 出産力調査から見たヒノエウマ……………大 谷 憲 司 (人口問題研究所)

当日は、30名ほどの出席者があり、活発な質疑応答が行われた。

(大谷憲司記)

## 第62回日本社会学会大会

日本社会学会(会長:森岡清美 成城大学教授)の第62回大会は、1989年10月21日(土)と22日(日)の両日にわたって新宿区の早稲田大学(大会運営委員長:外木典夫)で開かれた。初日から2日目の午前にかけて49の部会(四つのテーマ・セッションを含む)で約200の一般研究報告が行われた。2日目午後には当研究所の評議員でもあられる森岡先生による「死のコンボイ経験世代の戦後」と題された会長講演に続き、「社会理論のフロンティア」、「天皇制と天皇現象」、「国際化と社会変動」、「家族の国際比較——「夫婦」の絆のゆくえを問う——」の四つのテーマ部会が開かれたが、会長講演と最後の二つのテーマ部会には人口とも関連が深い内容が含まれていた。

第59回大会以降、人口部会がなくなったままであるが、当研究所の研究員が以下の二つの報告を行った。

- 地理的通婚圏の研究(家族Ⅲ部会)……………鈴木 透  
ブルデューの「生物学的再生産」戦略とその評価(学説研究Ⅳ)……………小 島 宏

以上のほか、人口と関連する内容の報告としては以下のものがあつた。

- ライフコース・社会構造・歴史変動の相互連関へのパースペクティブ  
(基礎理論Ⅱ)……………安 藤 由 美 (早稲田大学)
- 都市構造再編連合の形成と展開——「世界都市」化の政治基盤——  
(都市)……………町 村 敬 志 (筑波大学)
- 現代日本における生命再生産労働に関する一考察——生命再生産に関する  
フェミニズム理論の新たな課題について(女性)……………後 藤 澄 江 (名古屋大学)
- 大恐慌と第二次大戦がアメリカのライフ・コースに与えた影響  
——二つのコーホートの比較——(ライフコース)……………タマラ・ハレブン(ハーバード大学)
- ライフコースにおける社会的加齢過程(ライフコース)
- 1) 社会時間における青年期から成人前期へ……………嶋 崎 尚 子 (早稲田大学)
  - 2) 出来事達成からみた中年期のコーホート分析……………藤 見 純 子 (大正大学)
  - 3) 意識の側面からみたライフコース……………佐 藤 友美子 (早稲田大学)
  - 4) ライフコースのコーホート比較における方法論的問題……………大久保 孝 治 (早稲田大学)
- 階層的通婚と地位達成(階層・階級)……………鹿 又 伸 夫 (立命館大学)
- 都市家族のソーシャル・ネットワークとサポート(家族Ⅲ)……………前 田 信 彦 (上智大学)  
目 黒 依 子 (上智大学)
- 親族関係と都市移動の意志決定(家族Ⅲ)……………関 孝 敏 (北海道大学)
- フランスにおける移民と多元的医療——ル・アブルの産院インタビュー  
調査から——(保健・医療)……………松 橋 恵 子 (桜美林大学)
- (小島 宏記)